## 水道事業業務状況公表

平成20年3月31日現在のいの町水道事業の概要、経理状況及び平成20年度 予算・事業概要を地方公営企業法に基づいて、次のとおり公表します。

化を図り、 を維持するため、 千円の純利益となりました。 年度収支は、 委託料681万5千円で、単 修繕費4,597万1千円、 減価償却費9,644万円、 動力費2,605万7千円、 支払利息4,941万5千円、 で、その主な費用として、職員 は、2億8、853万5千円 円に対し、水道事業費用総額 会計補助金2,251万5千 7千円、新設分担金迎万円、他 で、その主な収益として、給 収益総額3億744万4千円 減となりました。 801°m(前年度比0.8%) 78°mで前年度より2万4, 対し、総有収水量2%万3,5 総配水量勁万3,456mに 28件の減となり、水量面では、 数8,137件で前年度より 給与費3,952万7千円、 水収益2億7,741万1千 今後とも、 経理に関しては、水道事業 営業では、19年度末給水件 =平成19年度 受取利息及び配当金12万 有収率の向上を目 健全な企業運営 1,890万9 業の概要= 経営の効率 n 指し、 とおりです。 業を行いました。 供給を図るために、いの町池 そって清浄、豊富な水の安定 環境の整備に一層の努力をい ノ内地区配水管布設替工事 に たします。(別表1) ○天神ヶ谷川河川改修工事に ○池ノ内地区配水管布設替工 ○駅東地区汚水管築造工事に )北内地区消火栓設置工事 【配水管布設替工事等】 配水管 消火栓 仕切弁 延 長 配水管 仕切弁 延 配水管 事 おいて、水道法の目的に 延 伴う配水管移設工事 伴う配水管移設工事 主な工事箇所の概要は次の 水道事業会計では、19年度 5,824万円余りの事 =主な建設改良 長 住民福祉の向上、生活 長 φ 75 φ 50  $\substack{\phi\\50}$ φ 50 φ 50 94 • 3 φ 50 50 575 133 • 6 m 279 • 0 m 3 基 3 基 1 基 m Ш 入れ、 911万8,546円を償還 年度に5、271万円を借り として銀行等引受資金より19 円でしたが、公営企業借換債 13億7,176万6,121 ○伊野南上水道残留塩素測定 ○北浦ポンプ加圧ポンプユ ○音竹水源地制御操作用直流 ○鹿敷地区配水管布設替工事 ○波川地区配水管布設替工事 ○駅南地区配水管布設替工事 ○新仁淀川橋添架物支持金具 仕切弁 配水管 仕切弁 配水管 消火栓 仕切弁 配水管 消火栓 仕切弁 ニット取替工事 延 延 延 平成18年度末未償還残高は 機取替工事 製作据付工事 電源装置取替工事 Π 3月までに、 長 企業債の概要= 長 *φ*75 2基 φ 75 50 . 9 φ 75 *φ*75 2基 φ 75 102 • *φ*75 2基 φ 100 5 75 φ 100 5 75 φ 75 338 • 2 m 3 基 5 基 m m 1 億 3, . 基 平成21年3月31日予定貸借 8,535万7,575円と 照表(別表3) 算概要 (別表2) 収益的収支・資本的収支の予 末企業債未償還残高は、12億 主たる建設改良事業 給水戸数 しました。 分損益勘定留保資金で補てん 損益勘定留保資金及び当年度 183万8千円は、過年度分 資本的収支の不足額1億4, 890万9千円が計上され、 したように当年度純利益1, なりました。 しましたので、平成20年3月 一日平均給水量 【予定業務量】 記号説明 概要・事業経営方法 平成20年度予算の 経営状況は、事業概要で示 =平成19年度 φ≡管の内径、 3億2,643万円 経理の状況= 8, 8, 単位 2 4 2 1 6 5 mm 対 mª 戸

12

Î

)

C